



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成26年3月号

NO.135

第2回神楽シンポジウム



2月16日、高千穂町自然休養村管理センターで、「第2回神楽シンポジウム」が行われました。

当シンポジウムは、高千穂町観光協会主催で、高千穂の夜神楽、西都市の銀鏡神楽、椎葉神楽、高原の神舞の関係者が、一堂に会し、意見を交わしました。

また、シンポジウムでは、岩手県花巻市大迫総合支所長の中村良幸氏による、ユネスコ無形文化遺産に登録された「早池峰神楽」についての基調講演がありました。

宮崎県では、記紀編さん1, 300年記念事業で、本県の神楽をユネスコ無形文化遺産へ登録することを目指していますが、登録への機運を高める有意義なシンポジウムとなりました。

また、3月14日には、大阪市のグランフロント大阪北館6階のUMEKITA FLOORで開催中の、宮崎県の様々な魅力を紹介する「MIYAZAKI FLOOR」というイベントの一環として、高千穂神楽が登場し、会場は大いに盛り上がりました。

高千穂町が「宮崎県茶業協会長賞」を受賞！

2月24日に宮崎市のJA・AZMにおいて、本県の茶業経営の安定的発展と、本県で来年度開催される全国お茶まつり宮崎大会の成功を目指し、「みやざき茶推進大会」が開催されました。

大会で行われた茶業関係者・団体への表彰では、本年度の「宮崎県茶業協会長賞」を高千穂町が受賞し、代表として高千穂町茶業振興会の飯干敏光会長が出席されました。この賞は、平成25年度に開催された全国茶品評会並びに宮崎県茶共進会において最も優れた成績を収めた市町村に授与されるもので、この受賞により、高千穂町が優秀な茶産地であることを広くアピールしました。



内倉高千穂町長（右）へ受賞報告する飯干会長（中央）

高千穂町が冬の花「ランキュラス」と「スイートピー」をPR！



高千穂産冬の花を河野知事へ贈呈

高千穂町内の関係団体で構成される「高千穂町花の日推進会議」が、町内で生産が拡大しつつある冬の花を広く知ってもらい、消費拡大につなげていくため、2月26日に宮崎市、延岡市でPR活動を行いました。

当日は、同会議会長である内倉信吾高千穂町長をはじめとする高千穂町花の日推進会議委員のメンバーが県庁や報道機関を訪問し、これまでの「高千穂町花の日」である8月7日に加え、新たに2月にも「冬の花の日」を制定し、1年を通して町内花きを知ってもらおう活動を行っていくことを報告するとともに、町の冬の花として全国でもトッ

プクラスの品質、出荷量を誇るランキュラスとスイートピーを贈呈しました。

「水土里の森」植樹会！

3月1日に、高千穂町岩戸地区で、高千穂みどりの少年団や地元子供会など約50名が参加し、植樹を行いました。この活動は、高千穂土地改良区が主催となり、農業用水の多面的機能及び森林の水環境・水源涵養を理解してもらおうと、中川登栃股地区共有林「水土里の森」づくりとして行ったものです。

今回は県の森林環境税事業「森林づくり資材提供事業」により苗木の提供を受け、ヤマザクラ300本とイロハモミジ400本を植樹しました。子供達は、名前を書いた杭を立て、最後に「水土里の森」の看板を設置し、全員で記念撮影を行うなど楽しい植樹会となりました。さらに植林後、

緑の募金活動として苗木を配布しました。また、地元の方からおにぎりや豚汁の振る舞いもあり、交流を深めることができました。



記念撮影！



一生懸命植えました！

西臼杵ブロック民生委員・児童委員研修会

2月26日、日之影町町民センターにおいて民生委員・児童委員研修会が開催されました。これは、西臼杵郡内の民生委員・児童委員を対象に、委員の知識や技能の向上、委員間の情報交換、交流を目的として、年一回開催されているものです。

午前には高千穂警察署の黒木警部補による講演で、ふりこめ詐欺の現状について、午後は宮崎自殺防止センターの大迫所長を講師に迎えて、自殺を思い悩んでいる人への接し方、かかわり方について学びました。

郡内の民生委員・児童委員定数は98名。厚生労働大臣から委嘱され、住民にとって最も身近な地域福祉の担い手として、日々活躍されています。



熱心に受講される委員の皆さん



研修の様子

西臼杵型放牧ネットワーク会公開研修会を開催！

3月6日、放牧ネットワーク会公開研修会を開催しました。

公開研修会は当会の会員や畜産農家を対象とし、各専門分野から講師を招き、肉用牛の生産性向上や飼料作物栽培に関すること、さらには牛の寄生虫に関することについて、講演形式で実施しました。宮崎県畜産試験場の鍋西主任研究員による「繁殖農家における生産性向上のためのヒント」の講演では、分娩間隔を短縮するためのヒントや子牛に対するヒーターを用いた効果的な保温対策について、試験研究データを用いた分かりやすい説明がありました。



研修会の様子



今回の研修会では現場で活用しやすい技術に関する話題が多く、有意義な研修会となりました。

鳥獣被害対策特命チーム会議を開催！

3月13日、鳥獣被害対策に関する管内の各機関による「西臼杵地域鳥獣被害対策特命チーム」会議（チーム長：西臼杵支庁長）を、普及センターにおいて開催しました。



特命チームは、西臼杵管内の関係機関で情報交換しながら、効果的な鳥獣被害対策を実施するために組織したチームで、今回は、今年度の活動実績と来年度の計画について検討を行いました。

会議では、24年度作の被害調査の結果や、鳥獣被害モデル集落での被害防止の取り組み状況、また、各町における捕獲の状況等について報告され、来年度以降も引き続き対策を行っていくことが確認されました。

また、猟友会からは獣の生息痕が里に近づいている状況や「違法わな」についての情報提供がありました。



会議の様子

小学校木育教室

西臼杵林業振興協議会の主催により、去る2月25日、木材に親しみ、林業や森林への理解を深めてもらう「木育教室」が、五ヶ瀬町鞍岡小学校で開催されました。

1年生から6年生までの31名は、森林のはたらきや育て方などの話を聞いた後、県産スギ・ヒノキ材の木製組み立てキットの中から、1年生が汽車の玩具、2、3年生がゾウの玩具、4、5年生が折りたたみ椅子、6年生が折りたたみテーブル作りに挑戦しました。

児童たちは、作り方を書いた説明書や見本を見ながら、悪戦苦闘していました。

4、5年生の児童の中には、釘を打つ場所を間違え、開くはずの椅子が開かなかったり、座がうまく組み合わさらなかったりしていました。

それでも、粘り強く、完成させ、満面の笑みを浮かべ喜んでいました。

玩具を作成した1～3年生の児童たちは、完成品に思い思いの色を塗り、動かして遊んでいました。



4、5年生の折りたたみ椅子



6年生の折りたたみテーブル



1年生の汽車の玩具



2、3年生のゾウの玩具

保育園児がしいたけの駒打ちを体験しました！

子供達にしいたけの事をもっと知ってもらおうと、日之影町内の保育園児26名（年長児）を対象とした、しいたけの駒打ち体験を行いました。

子供達は、真剣な面持ちでしいたけ栽培の説明を聞いた後、実際に駒打ちを行いました。最初は、慣れない手つきで駒を打っていましたが、だんだん慣れてくると、「まだやりたい!」、「ほかに木はないの?」と、とても楽しそうに駒打ちをしていました。終わりに、みんなで種駒を打った木を手にとって、記念写真を撮りました。

今回駒を打ったほだ木は100本で、このうち50本は自宅に持って帰って、しいたけの生長を観察してもらい、残り50本は保育園で育て、給食に利用する予定です。



みんなで集合写真!



駒打ちの様子

編集後記

異動してきて1年が経ちました。最近、暖かくなり、春の訪れを感じ、1年前に初めて西臼杵支庁に登庁する際、見知らぬ小学生と挨拶を交わし、来て良かったなあと感じたことを思い出します。今年は、昨年よりも、もっともっと西臼杵地域のことを勉強し、西臼杵郡の魅力を紹介し、より楽しい「高千穂郷」通信を作っていきたいと思います。(猿)

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181

FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html